

Make a Leap Forward

リープтонエナジー株式会社について

会社案内

2023.11



LEAPTON SOLAR

What's Leapton?

リープトンエナジー株式会社について

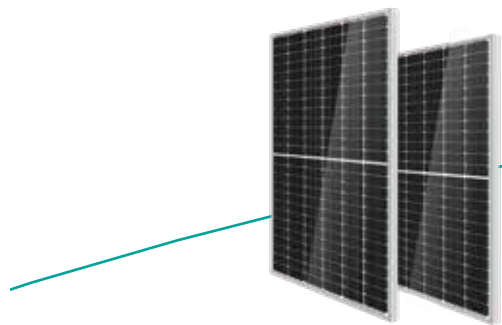
神戸で設立された日本の太陽電池モジュールメーカー

リープトンエナジーは、神戸で設立された太陽光発電のシステムメーカーです。2012年の設立以来、販売代理店数は約300社を超え、日本全国に製品を供給しています。また、海外での販売も49ヶ国を超え、シェアを拡大しています。



必要なものが一度に揃う システムでのご提案が可能

高品質かつコスト競争力に優れた自社製太陽電池モジュールをはじめ、アルミ架台、パワーコンディショナなど、トータルでのご提案が可能です。



自社製 太陽電池モジュール



自社製 アルミ架台



パワーコンディショナ



Advantages

point
1

資本は100%日本
撤退の心配がない

撤退

自社工場は100%日本資本。急な撤退などのリスクはありません。世界で認められた品質と、日本ならではのきめ細かいサービスとのハイブリッドでバックアップ体制も万全です。

point
2

安定したパネル供給



当社パネルは自社工場生産。潤沢な在庫を保有しているので安定したパネル供給が可能です。

point
3

国内物流倉庫との連携で
小ロットでの対応も可能



神戸、愛知、千葉に物流倉庫を構え、日本全国への納品に対応しています。また在庫を保有することで、小ロット対応や納期タイミングの調整が可能です。

point
4

世界で認められた
モジュール



Bloomberg New Energy Financeがエネルギー部門の事業者及び専門家を対象にトップクラスの太陽光パネルメーカーを四半期ごとに選出するランキングTier1リストに連続選出されています。

point
5

安心して使える
充実の保証

製品保証
15年

出力保証
25年

当社モジュール、架台、パワーコンディショナは15年間保証。モジュールの出力保証も25年間（初年度は98%、2年目以降は毎年0.55%の出力低下を下限に保証）で、長く安心してお使いいただけます。

point
6

海外に拠点があり
ワールドワイドな取引が可能



海外自社工場のほか、上海事務所、オランダ倉庫があり、ヨーロッパ地域、アジア・中東、オセアニア、南米など、ワールドワイドなお取引が可能です。

Tier1リストに連続選出!

Tier1=BNEFが選んだトップクラス太陽光サプライヤランキング

BloombergNEF

Tier1に選出される条件



過去2年間、1.5メガワット以上の6つの異なるプロジェクトに、6つの異なる銀行から融資を受けて自社ブランド太陽電池モジュールを納入した実績。

顧客からの製品に対する意見

研究開発

調査

バンカビリティ(融資適格性)

財務安定性等の評価基準

Tier1リストは企業のバンカビリティ(銀行が融資できるかどうかの判断)の材料とされ、お客様にとって投資に値し、信頼できる企業であるという指針となります。



リープтонエネルギーは13回選出

2023.9時点

The screenshot shows a table titled 'Tier 1: Photovoltaic module manufacturers meeting BloombergNEF's Tier 1 criteria as of 1Q 2023'. The table lists various manufacturers and their performance metrics. The first row is highlighted in red.

世界の有名PVメーカーが
選出されています

Bloomberg New Energy Finance (BNEF) は世界6大陸拠点に調査員を配置するエネルギー部門の事業者及び専門家を支援する研究機関です。

そのBNEFが四半期ごとに、「Tier1=トップクラス」と定め、発表するリストがTier1リストです。

BNEFはパネルメーカーが前四半期の間に、各サプライヤのプロジェクトの進捗状況と、お客様からの製品に対する意見、また、研究開発、アフターサービス及び公共事業プロジェクトへの投入などの有無などを調査し、パネル製品の信頼性の基準とします。

自社工場製造による厳格な品質管理

モジュールならびに架台は安心の自社工場製造。日本品質の厳しい目で製造管理しています。

モジュール工場



工場内はAIによる、自動検査システムなど、最新鋭の機材を投入し、24H体制で生産しています。



年間生産能力 | 3.5GW/年

最新鋭の設備を投入し、オートメーション化された自社工場で大規模生産を実現。高品質なパネルをコスト競争力に優れた価格でご提供できます。

架台工場



年間生産能力 | アルミ架台: 250MW アルミフレーム500MW/年

開発・設計から製造までの一貫体制。さまざまな立地や気象条件から導き出された最大のパフォーマンスを発揮する架台をご提案できます。

自社工場のメリット

常に最新鋭の設備が整っており安心



自社工場は常に最新鋭の設備にアップデート。2021年1月に竣工した新モジュール工場は年間3.5GWの生産が可能で、今後は5GW規模に拡張を進める予定です。

希望納期に合わせやすい



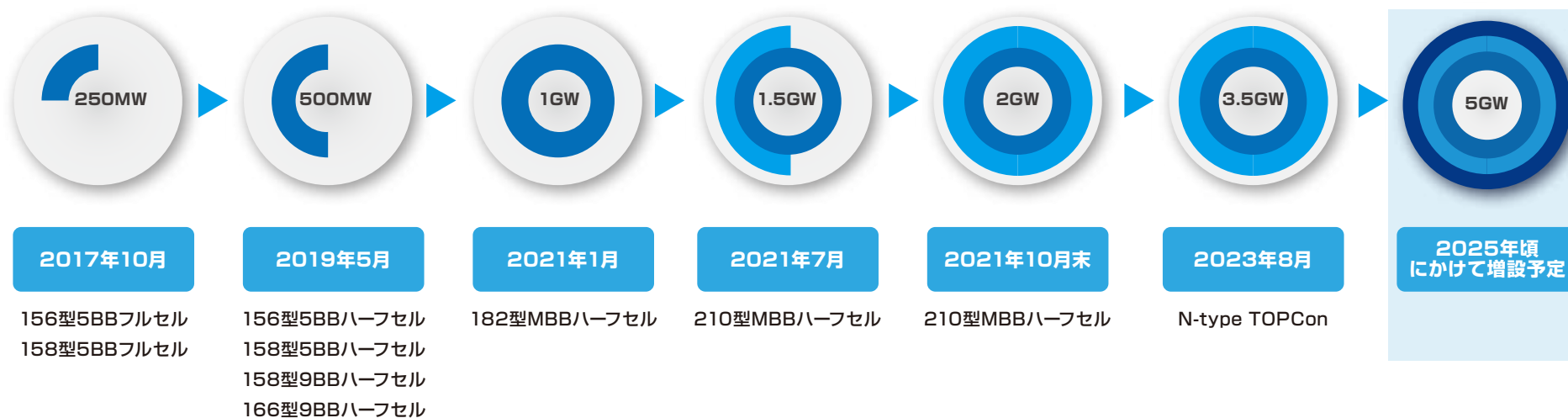
生産数のコントロールなどを自社で行えるので、希望納期に合わせた柔軟な調整が可能です。

モジュール新工場拡張計画について

2020年末に完成し、2023年夏には拡張工事も完了。将来的に年間総生産量は**5GW**になる見込みです。



モジュール製造計画 2021年より、リープトンエナジーの生産体制はGW規模になりました。



モジュール累計出荷量（国内・海外）

国内 | 655MW

海外 | 3283MW

2023.10月現在

日本国内に留まらず、ヨーロッパ・アジア・中東・南米への出荷実績も増えています。



太陽電池モジュール

P-type
製品保証
15年

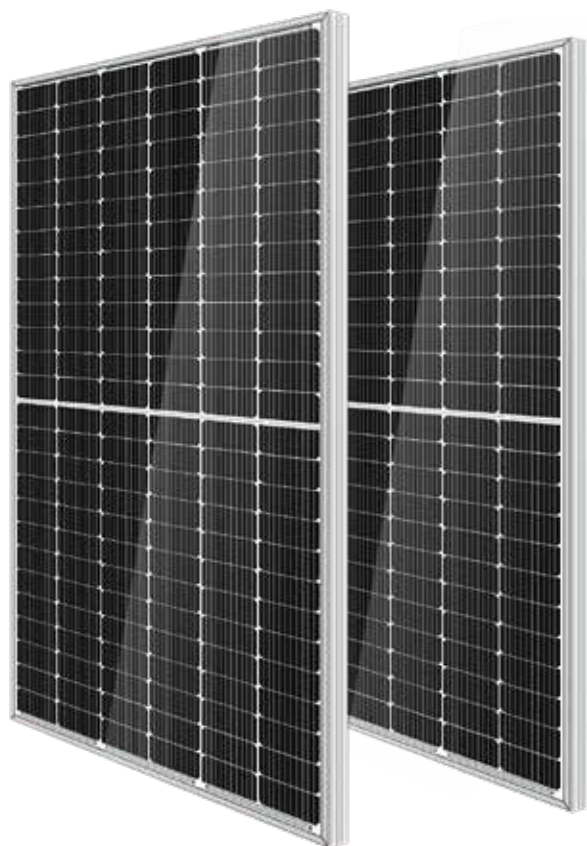
N-type両面
製品保証
25年

P-type
出力保証
25年

N-type
出力保証
30年



世界水準として認められた認証を取得



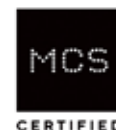
国家規格に基づいたドイツ政府公認の検査機関による、厳しい条件下（高温・高湿・高電圧）でのPID耐久試験、塩水噴霧腐試験（※）に当社の太陽電池モジュールがクリアしたことを証明しています。

※重塩害地域（海岸より500m以内）を除きます。



お客様により良いサービスを提供し品質向上を図るため、品質マネジメントの国際規格「ISO9001:2008」を取得しています。

その他の認証



太陽電池モジュール ラインナップ

単結晶

P-type

片面発電

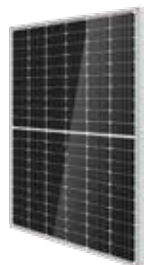


単結晶

LP182*182-M-54-MH

外形寸法 1724×1134×30mm
質量 21kg

出力	410W	415W
変換効率	20.9%	21.2%

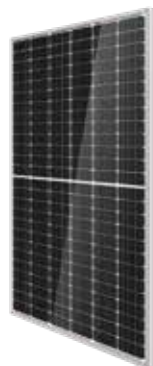


単結晶

LP182*182-M-60-MH

外形寸法 1909×1134×30mm
質量 23kg

出力	450W	460W	465W
変換効率	20.8%	21.2%	21.5%

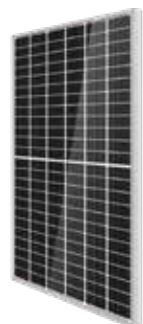


単結晶

LP182*182-M-72-MH

外形寸法 2465×1134×35mm
質量 29.3kg

出力	590W	595W	600W	605W
変換効率	21.3%	21.5%	21.7%	21.8%

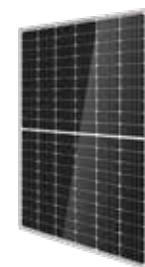


単結晶

LP182*182-M-72-MH

外形寸法 2279×1134×35mm
質量 27kg

出力	550W	555W
変換効率	21.3%	21.5%

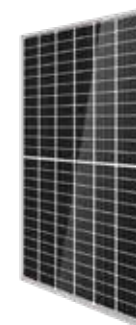


単結晶

LP182*182-M-60-NB

外形寸法 1909×1134×30mm
質量 26.5kg

出力	470W	475W	480W
変換効率	21.7%	21.9%	22.1%



単結晶

LP182*182-M-72-NB

外形寸法 2279×1134×30mm
質量 32kg

出力	570W	575W	580W
変換効率	22.1%	22.2%	22.4%



単結晶

LP210*210-M-66-MH

外形寸法 2384×1303×35mm
質量 34kg

出力	650W	655W	660W	665W
変換効率	20.9%	21.0%	21.2%	21.4%

単結晶

N-type

両面ガラス

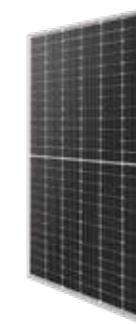


単結晶

LP182*182-M-54-NB

外形寸法 11722×1134×30mm
質量 25kg

出力	435W	440W	445W
変換効率	21.7%	22.0%	22.2%



単結晶

LP182*182-M-78-NB

外形寸法 2465×1134×35mm
質量 34.8kg

出力	615W	620W	625W
変換効率	22.0%	22.1%	22.3%



製品保証
15年

P-type
出力保証
25年

N-type
出力保証
30年

架台・パワーコンディショナ

製品保証
15年

アルミ架台

施工性の向上を図りコスト競争力アップ

MGA-SI 標準型

新JIS規格対応(JIS C8955:2017)



モジュール
設置角度
0°~35°

最大風速
55m/s

最大積雪量
80cm

多積雪地域や風が強い地域にも対応

MGA-SII 強化型

新JIS規格対応(JIS C8955:2017)



モジュール
設置角度
0°~35°

最大風速
55m/s

最大積雪量
150cm

パワーコンディショナ

自立運転自動切替

出力抑制対応

高い変換効率と小型化を実現 非常用電源として活用できる「自立運転自動切替機能」搭載

屋外集中型 SPSS-55E-LP



単相
5.5kW

変換効率
96.0%
力率0.95

- 外形寸法
W405×H478×D211mm
- 質量
20kg (取付板、保護ガード除く)

屋外マルチストリング型 PSM-444B-LP



単相
5.5kW

変換効率
96.5%
力率0.95

- 外形寸法
W405×H478×D211mm
- 質量
20kg (取付板、保護ガード除く)

リモコン別売り



SPUR-1MB-LP

カラーモニタ・電力検出ユニット

モニタレス対応でスマートフォンやタブレット等で発電情報が確認可能

余剰・全量兼用



SPCM277-LP



SPW277-LP



- 7インチタッチパネルカラーモニタ
- 無線LANおよび有線LAN接続で、遠隔出力抑制に対応

Self-Consumption Systems

自家消費型太陽光発電

パネル選びの決め手は品質と信頼性



コープデイズ神戸西
では、リープтонエナ
ジー製の太陽光パネル
約156.48kWを発電
量、高品質のソーラーは
います。



その他のコープこうべ店舗でも 自家消費システムを積極導入!



コープこうべ西宮南センター店舗では「LP156.48kW」の太陽光発電設備が導入され、設計の発電量は約222.32kWです。

リープтонエナジーは、太陽光発電の導入を促進するため、コープこうべの店舗に太陽光発電の導入を積極的に推進しています。また、コープこうべの店舗に太陽光発電の導入を促進するため、コープこうべの店舗に太陽光発電の導入を積極的に推進しています。



リープтонエナジー株式会社
神戸市東灘区西宮南センター
1-2-1 東灘ビルディングB
〒215-0801
TEL: 078-850-8000
E-mail: info@leaptonenergy.jp
www.leaptonenergy.jp

自家消費システム 導入レポート

コープが手掛けるポストFIT太陽光 オール神戸で自家消費を推進!

店舗の屋根を中心に、30ヶ所を超える太陽光発電設備を設置してきたコープこうべ。従来はFITによる売電が目的だったが、2018年から完全自家消費に舵を切った。同時に、太陽光パネルの選定にも厳しい目が向けられた。新たに採用されることになったパネルメーカーとは?



リープтонエナジーが手掛けた、太陽光発電による自家消費を行っている「コープデイズ神戸西宮」の屋根に出力360kWのパネルが440枚設置されており、設計の発電量は156.48kW。

自家消費を推進する上には、発電設備の設置や運用管理の面で、コープこうべの店舗に太陽光発電の導入を積極的に推進しています。また、コープこうべの店舗に太陽光発電の導入を促進するため、コープこうべの店舗に太陽光発電の導入を積極的に推進しています。



リープтонエナジーは、コープこうべの 自家消費プロジェクトに選ばれた第1号の パネルメーカーです

●その他、大手コンビニチェーン、スポーツ施設、製薬工場など多数実績がございます。お問い合わせください。



兵庫県 | 倉庫 | 727.2kW



岡山県 | 工場 | 257kW



愛知県 | スーパーマーケット | 162kW



高知県 | 工場 | 400kW

住宅用太陽光発電

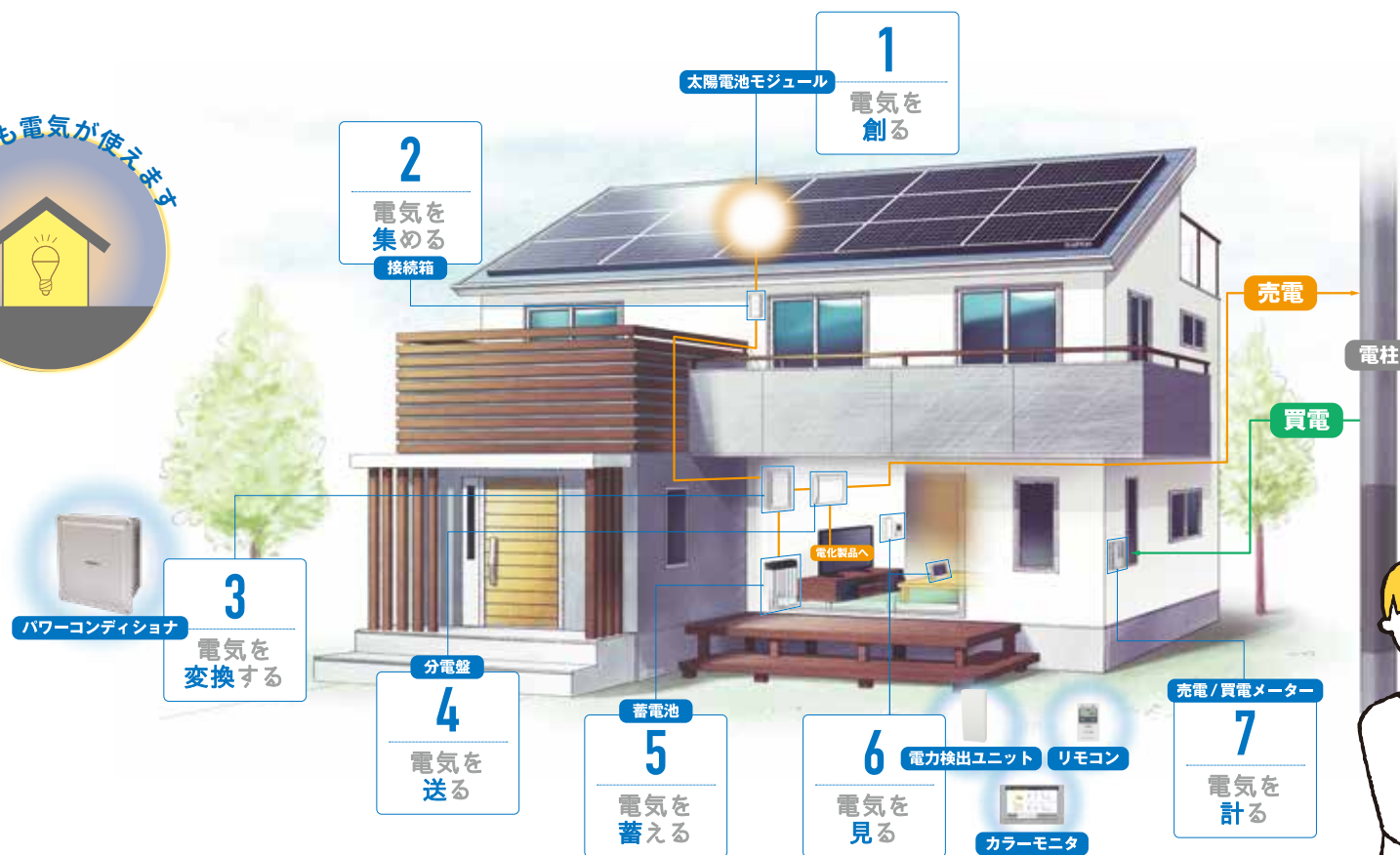
電気を作ってスマートな暮らしをしませんか？

リープトンエネルギーが
太陽光発電をトータルでご提案



電気を「買う」から「つくる」「貯める」暮らしへ変えてみませんか？

電気代の削減はもちろん、災害時の備えにもなり、家族と家計の安心へとつながります。



佐賀県 | 10.6kW



三重県 | 8.9kW



事例紹介

メガソーラー Mega Solar



高圧・低圧 High voltage and low voltage



自家消費 Self-power consumption



ソーラーシェアリング Solar Sharing



ソーラーカーポート Solar Carport



住宅 Residential



Solar Power Plants

自社発電所

システムの検証と経営の安定化を目的に、全国に自社発電所を開発・建設・管理しています。



淡路岩屋発電所

設置場所	兵庫県淡路市
出力規模	1.09MW
利用面積	10,186㎡
使用パネル	LP182*182-M-78-MH 590W



LP宮城県石巻太陽光発電所

設置場所	宮城県石巻市
出力規模	1.35MW
利用面積	13455㎡
使用パネル	LP182*182-M-60-MH 460W

全国

2023年度内に**85**カ所に連系予定

2023年10月時点の稼働中発電所数：74件

リープトンエネルギー (神戸市中央区)

太陽光発電システム
開発・製造・販売

〈データ〉2012年設立。本社はJR神戸駅そばのビルに入る。太陽光パネルのほか、架台や付属機器も一括提案する。23年3月期の売上高は480億円と見込み、うち海外分は9割。岡社長は来日後、新聞配達などで生計を立てた。聖トマス大卒。



急成長を支えるリープ
トンエネルギーの太陽光
パネル工場＝中国・江
蘇省(同社提供)

再エネ普及 質と信頼磨き 世界へ。

2050年のカーボンニュートラル(温室効果ガス排出の実質ゼロ)に欠かせない再生可能エネルギー。その筆頭の太陽光発電システムを世界展開する希少な日本メーカーだ。「何事もやらないと分からない」。設立から10年。中国・上海市出身の岡崎社長(44)は事業を拡大し、売上高は100倍になった。その誇

自社製造の太陽光パネルを
背に展望を語る岡崎社長
＝神戸市中央区相生町1、
リープトンエネルギー

「やってきた事業と関連があり、伸びる」。太陽光発電に特化したリープトンエネルギーを立ち上げた。パネル生産は当初、中国企業に委託。大手の参入が続いたが、価格を武器に競争をくり抜けた。だがパネルは4年ほどで去り、市場は縮んだ。競争は一層激化し、販路を途上国にも拡大。土地が必要な太陽光発電に安い地代は魅力だった。17年には中国・江蘇省で自社のパネル工場を構え、安定供給の土台も固めた。狙いは的中した。18年以降、売り上げは伸び、秘策は「市場を綿密に調べ、需要を的確につかまえる」とシンフルだ。今や販売先は中南米、東南アジア、欧州の36カ国に及ぶ。強みはコスト競争力と高い品質。世界的な調査機関による融資の容易

性評価で、最上位に1回選ばれた。「工場は中国にあるが、日本企業であることは大きなメリットだ。国内では昨年、再エネの卸価格に国が補助を減らす制度FITが開始された。全国に約70の発電所を保有し、「制度が改まった今がチャンス」と岡社長。今年3月には、大阪ガスとFITに基づく長期供給契約を結び、収益基盤の強化を図る。脱炭素の流れも追い風に、パネル工場を増強し、25年度の売上高目標を今の倍、1千億円以上とする。数人で起った会社は、今や約600人になった。「神戸は第二のふるさと。多くの方に助けてもらった」と意気込みを語る。また成功していない。成長を続け、再エネで社会に貢献したい。(横田良平)

◇原則 毎週木曜に掲載します。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

次の一手

激動の中で 兵庫の企業



岡崎社長

リープトンエネルギーは2012年7月に神戸市で設立された。以来、日本発の太陽光パネルメーカーとして展開してきた岡崎社長は、転機は17年に中国江蘇省常熟市で稼働したパネル工場への投資だったという。当時投資もあったようだが、岡崎社長は、「海外市場の販路開拓に伴い、出荷量を大きく伸ばすことができず、決断は間違っていた」と振り返る。



8月にパネル工場第2期工事に着手した

同社は工場増強とともに事業規模を拡大。直営の23年3月期決算では売上高が前年比約1.5倍の293億円にまで伸び、太陽光パネルの販売実績は9億7千万Wだった。出荷先はブラジルが最も多く、日本は1億0千万Wにとどまった模様だが、岡崎社長は、「日本ブランドを活かした販路開拓を推進している」という。また、「23年3月期もブラジル向けがトップだ。欧州向けも伸びており、輸出割合は21年比1.4倍を見込んでい

る」と話す。パネル生産は21年比2.2倍に達したが、22年8月に最大3GWを生産能力を誇る。同社は太陽光パネル製造のほか、安定収益となる発電事業にも力を注ぐ。日本では合計20MW以上の太陽光発電所の運転を開始し、さらに20・30MWのFIT案件も確保している。「(岡崎社長) オンサイトPPA(電力売買契約)事業にも着手済みだ。中国でも地方政府と合弁会社を立ち上げ、オンサイトPPA事業を展開。岡崎社長は、「4社の合弁会社を設立し、計30MW分の契約を締結した。年末までに25MW分が動く計画で、向こう3年で1億0千万W程度で拡大したい」と語る。

23年3月期の売上高は海外販売の増加で4億0千万円以上を見込

企業 探求

リープトンエネルギー 10年で年商300億円に 5GW体制に向け新工場建設

同社は太陽光パネル製造のほか、安定収益となる発電事業にも力を注ぐ。日本では合計20MW以上の太陽光発電所の運転を開始し、さらに20・30MWのFIT案件も確保している。「(岡崎社長) オンサイトPPA(電力売買契約)事業にも着手済みだ。中国でも地方政府と合弁会社を立ち上げ、オンサイトPPA事業を展開。岡崎社長は、「4社の合弁会社を設立し、計30MW分の契約を締結した。年末までに25MW分が動く計画で、向こう3年で1億0千万W程度で拡大したい」と語る。



国内では自家消費用設備に採用されることも
中国ではオンサイトPPA事業を展開中

国内外の展示会にも積極的に出展しています。

PV EXPO 春 2023

第16回 国際 太陽光発電展

会期：2023年3月15日(水)～17日(金) 会場：東京ビッグサイト



2023年3月15～17日 PVEXPO (東京ビッグサイト)



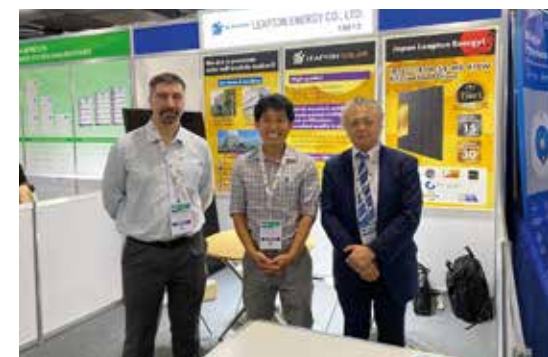
2023年3月14～16日 オランダ



2023年3月21～23日 スペイン



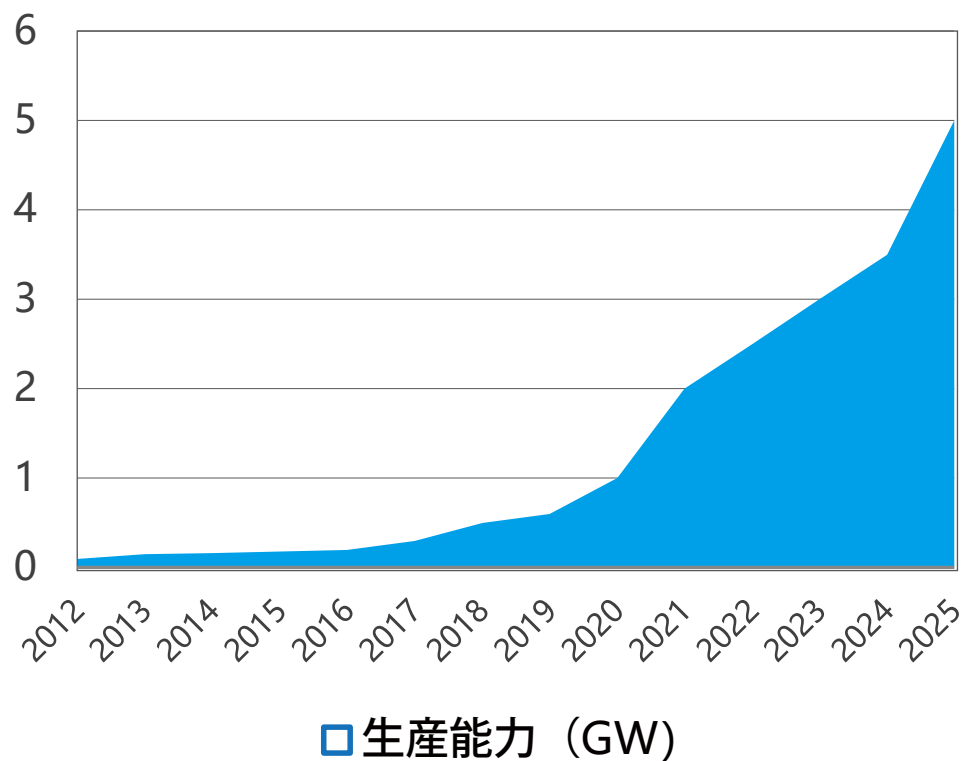
2023年6月14～16日 ドイツ



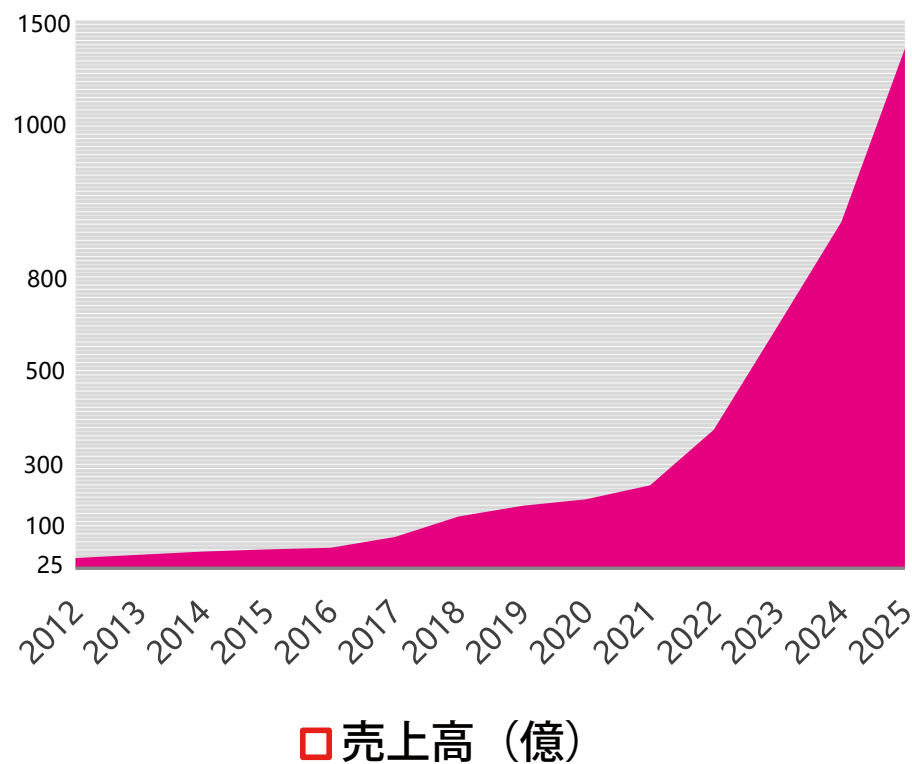
2023年9月12～14日 アメリカ

リープトングループ今後の展望①

生産能力

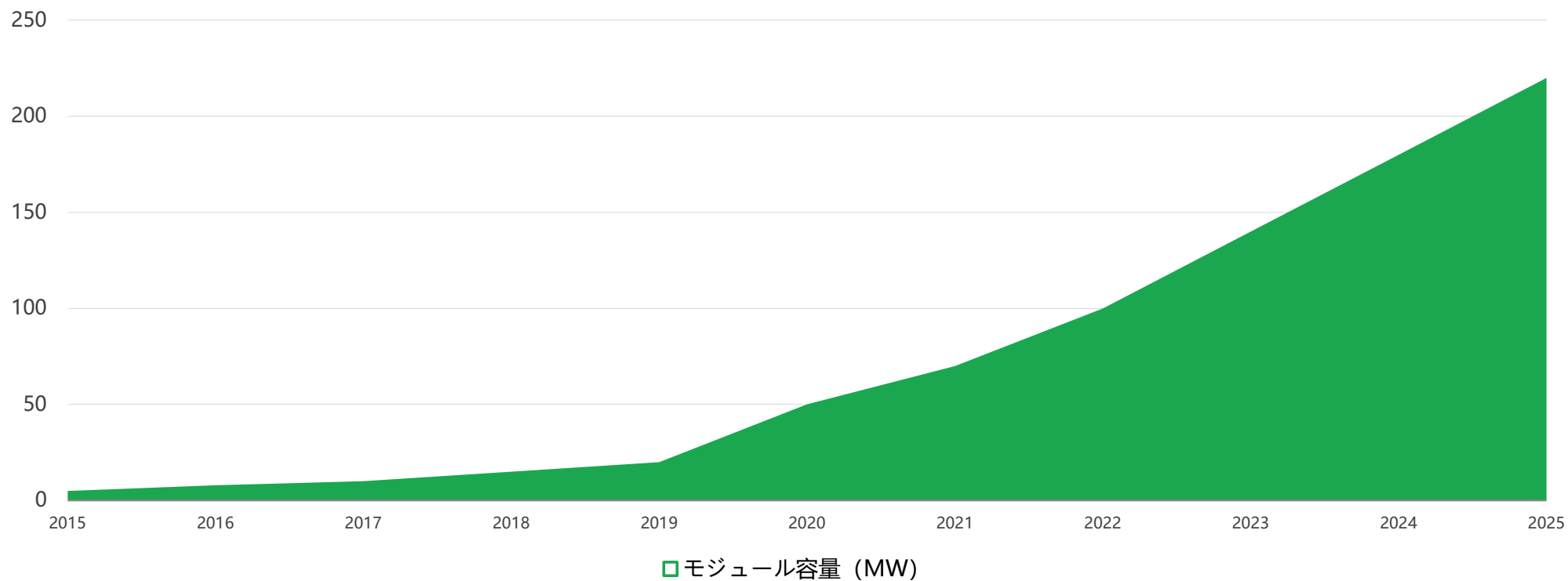


売上高



リープトングループ今後の展望②

リープトングループ全体自社発電所(日本・中国)の推移と展望



会社概要



会社名	リープтонエナジー株式会社 Leapton Energy Co.,Ltd.
設立年月	2012年7月
資本金	4億9,999万円
代表取締役	周鳴飛
主要取引銀行	りそな銀行 / みずほ銀行 / みなと銀行 / 三井住友銀行 / 三菱UFJ銀行 他
本社	〒650-0025 神戸市中央区相生町1丁目2番1号 東成ビルディング6F
東京支社	〒105-0004 東京都港区新橋3丁目5番10号 新三ビル6F
リープトングループ	【国内】 リープтон発電事業株式会社 【海外】 リープтонソーラー(常熟)有限公司(太陽電池モジュール工場) リープтон金属(江陰)有限公司(架台工場) リープтонエナジー工程技術(上海)有限公司 Leapton Energy(Australia) Pty Ltd.(Australia Branch) LEAPTON ENERGY GmbH(German Branch) LEAPTON ENERGY DO BRAZIL LTDA(Brazil Branch) LEAPTON ENERGY LLC(America Branch)
事業内容	太陽光発電システムの開発・販売 太陽電池モジュールの製造・販売 太陽光発電システム取付部材(架台・基礎杭)の製造・販売 太陽光発電所の設置・管理・メンテナンス



神戸で生まれた太陽電池モジュールメーカー
リープトンエネルギー



LEAPTON
SOLAR